

寒い冬の暮らしにドキドキ!!

大山町・嘉手納町人材育成交流事業

1月26日から3泊4日の日程で、沖縄県嘉手納町から16名の児童が交流のため大山町にやってきました。

これは、嘉手納町と大山町の両町が国体のソフトボール会場となったことをきっかけに、地域の将来を担う人材の育成を目的として毎年行っているものです。

27回目の受け入れとなった今回も、大山町内5年生児童の家庭に宿泊。受け入れ家庭の家族との交流を深めました。



▲中山小で伝統のエイサーを披露

また、滞在期間中は「ファーム山下」（報国）での酪農体験、中山小学校との交流など、大山町や県内の施設を訪問して、異なる文化を体感しました。

中でも、JRの乗車やスキー体験、温泉入浴などが『生まれ初めて』の児童もあり、新鮮な経験となったようです。

すっかり仲良くなった両町の子どもたち。お別れ式では「夏に会おうね」と嘉手納町での再会を約束しました。



▲「スキーできるようになったよ!」

みどりのもりっこ交流

中山みどりの森 保育園



中山みどりの森保育園では、地域、保護者、祖父母のボランティアの方々で組織する「もりっこ隊」のみなさんと一緒に、毎年、年長児が田植えから稲刈りまでの米作りをしています。

6月、もりっこ隊員さんに植え方を教わりながら、子どもたちは手で稲を植えました。その後は、田んぼにおたまじゃくしを取りに行つて、苗が大きくなっているのを見たり、散歩の時には、稲の穂が黄金色になる様子を見守つたりしました。

10月、一人ひとりが鎌を持って稲を一束ずつ刈り取



▲千歯で稲こぎ

り、保育園ではでかけをしました。そして秋晴れの日、昔ながらの千歯や足踏み脱穀機で稲こぎを体験しました。

12月、もりっこ隊員さん hands伝ってもらいながら、3歳から5歳の子どもたちが順番に杵を持つて餅をつきました。できあがった餅を子どもたちが丸め、きなこやあずき、みたらし、大根おろしなど好きな味を選んでおいしくいただきました。

また、毎年恒例になっている年長児のしめ縄作りでは、子どもたちが地域の方からしめ縄の作り方や飾りつけの話



▲もりっこ隊員さんとしめ縄作り

に挑戦しました。苦労しながらも自分で作ったしめ縄を見て、とても満足そうでした。そして福木に白、紫、桃色の餅の飾りもできました。

この一年間、米作りをはじめめざまざまな体験を通して、成長してきた子どもたち一人ひとりの思いが、このしめ縄に込められているように感じました。これまでお世話になった地域の方、もりっこ隊員さんに感謝をし、自然の恵みを大事にする心を持つ子どもたちに育ってほしいと願っています。